

[申し入れ]

北泉通りの拡幅・架橋は中止し

松ヶ崎橋など重要橋りょう等の耐震化対策の早期実施を

京都市長 門川大作 様

2011年10月4日 日本共産党左京地区委員会 委員長 原俊史

市会議員 樋口英明・加藤あい・とがし豊

左京区役所移転にともない、北泉通りの拡幅と高野川への架橋が、約8億円かけて進められようとしています。しかし、この事業については、市民から多くの疑問や批判の声が寄せられています。

京都市は、事業推進の理由のひとつに「防災面での機能向上」として「災害時の輸送路としての必要性」をあげていますが、その一方で、事業計画地の近くにある松ヶ崎橋や花園橋は、市が防災上重要な橋りょうと位置づけている橋（重要橋りょう）にもかかわらず、耐震化されないまま放置されています。左京区関連では、このほかにも北大路橋、賀茂大橋、丸太町橋、御池大橋など、耐震化されていない重要橋りょう等が多数残されています。

わが党市会議員団は、繰り返し重要橋りょうの早期耐震化を議会でも求めてきましたが、京都市は「財政難」を理由に耐震化をなかなか進めてきていないのが現状です。既存の重要橋りょうは「財政難」で耐震化できないとしているにもかかわらず、市民から事業の「凍結」の要望が出されている北泉通りへの新規架橋を8億円もかけて行うことは、大きな矛盾です。

よって京都市は、北泉通りの拡幅・架橋を中止し、重要橋りょう等の耐震化こそ早期に実施するよう、強く要望します。